

製品名: LT- β ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13482**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	LTB TNFC TNFSF3
別名	Lymphotoxin-beta (LT-beta;Tumor necrosis factor C;TNF-C;Tumor necrosis factor ligand superfamily member 3)
遺伝子 ID	4050.0
SwissProt ID	Q06643
免疫原	アミノ酸配列範囲: 41-90 のヒトタンパク質からの合成ペプチド

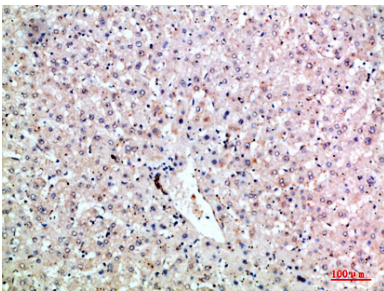
背景リンホトキシン β は、TNF ファミリーの II 型膜タンパク質です。リンホトキシン α をヘテロ三量体形成によって細胞表面に固定しま

す。リンパ球表面で優勢な形態はリンホトキシン $\alpha 1/\beta 2$ 複合体 (例: α 分子 1 個/ β 分子 2 個) であり、この複合体はリンホトキシン β 受容体の主要リガンドです。リンホトキシン $\alpha 2/\beta 1$ 複合体は、比較的少量しか存在しません。LTB は炎症反応系の誘導因子であり、リンパ組織の正常な発達に関与しています。リンホトキシン β アイソフォーム b はリンホトキシン α と複合体を形成できないため、リンホトキシン β はリンホトキシン α とは独立した機能を持つことが示唆されています。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、機能: LTBR/TNFRSF3 に結合するサイトカイン。免疫応答の調節において特定の役割を果たす可能性がある。ヘテロ三量体複合体が細胞表面に付着するための膜アンカーを提供する。アイソフォーム 2 はおそらく機能しない。類似性: 腫瘍壊死因子ファミリーに属する。サブユニット: LTB サブユニット 2 個と LTA サブユニット 1 個、または (より一般的ではないが) LTB サブユニット 1 個と LTA サブユニット 2 個からなるヘテロ三量体。組織特異性: 脾臓および胸腺。、

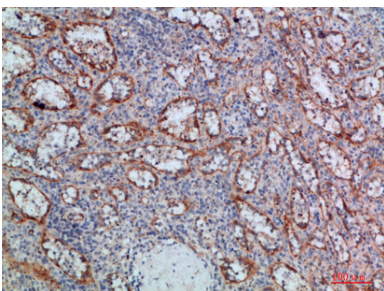
研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用;

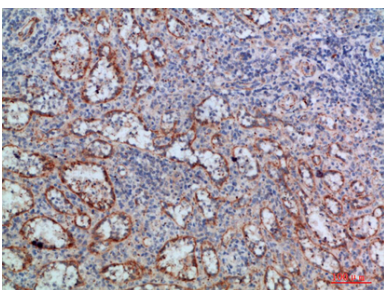
画像データ



パラフィン包埋ヒト肝臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



パラフィン包埋ヒト脾臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



パラフィン包埋ヒト脾臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された